

平成22年度

TOSS牛乳教育

事業完了報告書

平成23年 3月15日

【総括】

平成22年度TOSS食育・牛乳教育事業では、消費者の牛乳離れや飲み残しの増加への対策をするべく、昨年に引き続き継続して以下の内容の実施・推進を行った。

育成食育・牛乳教育指導方法開発のためのセミナー実施

食育・牛乳教育指導者育成のための地域勉強会の推進

食育・牛乳教育を実際の授業で実施

実施の結果、教諭と栄養教諭・栄養士との連携授業の実施数の増加や、貸出教材の活用、補助資料の活用、TOSSサークル活動外での研修活動への参加など、セミナー参加者アンケートや、地域勉強会実施後アンケートを基に検証した結果、TOSS所属教員の意識の高さがうかがえると共に、積極的な食育・牛乳教育推進への影響が認められた。

特に の食育・牛乳教育指導セミナーの参加者アンケートでは、有効回答数の214名中、全員が「再びセミナーに参加したい」と回答しており、その有意性が認められる。

また、 の地域勉強会実施後のアンケートでは、有効回答サークル103サークル中、すでに学校で牛乳教育授業を実施した11サークルを除き、残りの92サークル全てが「実際に授業で牛乳教育を実践してみたいと思う」と回答した。

セミナー参加者アンケートや、地域勉強会後のアンケートによると、指導セミナーでの実際の授業をイメージしやすい模擬授業や連携授業、実践報告、連携模擬授業を収録した模擬授業DVDとテキストがセットになった勉強会用教材セットが効果的だった。

の実施結果は、小学校、低・中・高学年合わせて75,029人への授業実施(見込み)となった。現在も教諭、栄養教諭・栄養士の両者から継続して教材の申込みがあることから、さらに授業実施数の増加が見込める。

また、 の実施の影響から、牛乳教育指導者の育成、並びにオピニオンリーダーの形成が進んだこともあり、TOSS教諭が担当するクラスだけでなく、学校全体での実施へと広がりを見せている。

さらに、平成21年度では実践の少なかった教諭と栄養教諭・栄養士らとの連携授業実施報告も増加していることから、効果的な指導方法が定着してきたと言える。牛乳教育授業実施後のアンケートによると、約半数の50%が連携の授業を行った。

さらに、同アンケート内容から、食育・牛乳教育授業の実施により、もともと飲み残しの少なかった学校を除くと100%の学校で、学校給食牛乳飲用状況改善への影響があることが認められている。

以上、TOSS食育・牛乳教育事業全体の流れと効果をまとめたが、意識の高いTOSS所属教員を対象とした食育・牛乳教育指導者の育成は、実際に効果的な授業実践まで繋がることから、小(中)学生への牛乳飲用状況改善や定着への影響が大きい。

今後も小(中)学生の牛乳飲用の意識改善、並びに飲用定着を計るためにも、「育成食育・牛乳教育指導法の開発」、そして「食育・牛乳教育指導者の育成」を継続することが望ましい。

【背景】

昨今、消費者の牛乳離れが言われ、長期的に市場縮小が進行しており、その傾向に歯止めがかからない状態である。小(中)学生の給食での牛乳飲用も同様の傾向が顕著であり、飲み残しの増加や牛乳離れが懸念されている。

将来にわたっての牛乳飲用習慣を左右する小(中)学生時代の飲用の定着や、牛乳に対する正しい理解は極めて重要な課題であり、一刻も早い対策が求められている。

【目的】

学校給食牛乳での飲用促進活動や家庭での継続飲用に向けた施策の立案に資するため、以下の点を推進。

育成食育・牛乳教育指導方法開発のためのセミナーの実施
食育・牛乳教育指導者育成のための地域勉強会の推進
食育・牛乳教育を実際の授業で実施

【実施結果】

育成食育・牛乳教育指導法開発のセミナーの実施結果

社団法人全国学校栄養士協議会と共催実施にし、計91名の栄養士・栄養教諭が自費で参加し、1セミナー辺り約30人もの参加者を迎えられた。

社団法人日本酪農乳業協会の貸出教材を活用した授業や、学乳スクエアの骨の動画資料の活用した授業を提案したことにより、有効な資料や補助教材の所在を知らしめることができた。

教師と栄養教諭(栄養士)とチームティーチングでの模擬授業を実施したことにより、教室内でどう授業すれば良いかを具体的に例示できた。

セミナーの内容充実を図ったことにより、参加者アンケート回答者の100%が再びセミナーに参加したいと回答。

食育・牛乳教育指導者育成のための地域勉強会の推進結果

地域勉強会を実施したいと教材のセットを申し込んできたサークル数は全都道府県から150サークル勉強会を実施したサークルからのアンケートでは、既に牛乳教育を実施した1割を除き9割が、「実際に授業を実施したい」と回答。その後の教材申込み数からも勉強会が非常に有効であることが分かる。

食育・牛乳教育セミナーをきっかけに知り合った一部TOSSサークル員が中心となり、栄養教諭を目指す学校栄養士らと「栄養教諭研修会」を合同で実施。参加者は地域勉強会にもかかわらず80名にもものぼる。平成23年1月22日にも実施された。

TOSSサークルの地域勉強会だけでなく、社団法人学校栄養士協議会が開催する勉強会に参加する教師もでてくるなど、活動の幅がさらに広がった。

食育・牛乳教育を実際の授業で実施

牛乳教育テキストは低学年:25,114部、中学年:24,502部、高学年:25,413部を希望教諭や栄養教諭らに送付。計75,029人に牛乳教育授業を実施(見込み)した。

単に授業を実施するだけでなく、社団法人日本酪農乳業協会の貸出教材を活用した実践報告が多数報告された。報告によると、貸出教材を活用したことで、子どもたちの興味を引き、熱中していたとの声が多く見受けられた。

食育・牛乳教育指導セミナーに参加した栄養士協議会会員らが同支部の会員らに地域研修会で、牛乳教育教材を紹介し、学校での実践へとつなげたとの報告もあった。

TOSS教諭が担任クラスで学校の栄養士と連携授業を行ったところ、同僚の教師が興味を持ち、学校全体で取り組むようになるなど、オピニオンリーダーの形成が実感できる。

TOSS教諭の栄養教諭との連携授業実践が地方新聞に取上げられた。

授業を実施した多くの教諭から「牛乳の飲み残しが減った」「飲めない子も飲もうと努力するようになった」等、牛乳飲用への効果的影響が顕著である。

名称

TOSS食育・牛乳教育

目的

カルシウムの摂取が何より重要な小中学生の子どもたちに、毎日の学校給食に出る牛乳が非常に栄養効果が高いことを理解させることを目指して、下記の3点について具体的に推進する

1. 育成食育・牛乳教育指導方法の開発のためのセミナーの実施
2. 食育・牛乳教育指導者の育成のための地域勉強会の推進
3. 食育・牛乳教育を実際の授業で実施

対象

小中学校教師、栄養教諭・学校栄養士

基本方針

小中学校の授業における教師と栄養教諭・学校栄養士との連携の促進

実施期間および内容

1. 育成食育・牛乳教育指導方法の開発のためのセミナーの実施
 - (1) 7月10日(土) 札幌
10:00～11:30 北海道教育会館ホテルユニオン
 - (2) 10月24日(日) 大阪
9:30～11:30 エル大阪 南館
 - (3) 11月6日(土) 東京
10:00～12:00 総評会館

< 連絡・問合せ先 >

TOSS中央事務局 事務局代行 株式会社スコープ・インターナショナル

住所: 〒104-0033

東京都中央区新川2-22-1 能登ビル7F

電話: 03-3555-8989 FAX: 03-3555-3548

メール: milk.kyozai@gmail.com

担当: 高橋(企画営業部 第3グループ)

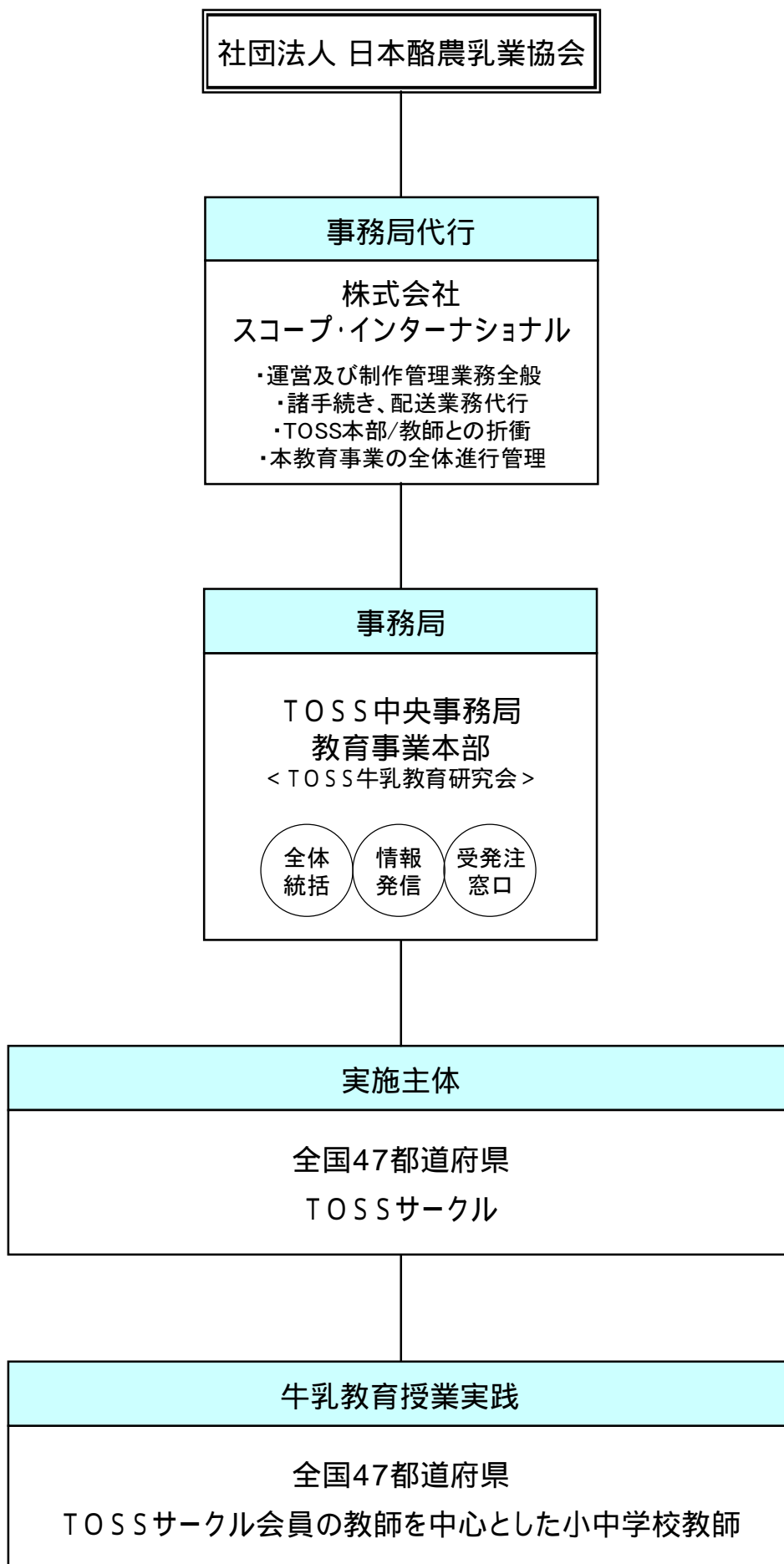
2. 食育・牛乳教育指導者の育成のための地域勉強会の推進
実施期間: 7月～2010年12月
全国TOSS150サークルを中心としてTOSS教師らが自発的に推進
勉強会実施サークルにはアンケートを送付し、実施状況を把握
3. 食育・牛乳教育を実際の授業で実施
実施期間: 6月～2011年3月

実施主体

TOSS食育・牛乳教育研究会

主催

社団法人 日本酪農乳業協会



1. 育成食育・牛乳教育指導方法の開発のためのセミナーの実施報告

今年度開催した3会場とも、平成21年度と同様に新テキストを活用した栄養教諭または学校栄養士とのコラボレーション模擬授業を実践。会場近隣の地域から多くの教師および栄養教諭・学校栄養士が参加し、教師とのチームティーチング授業の有効性にたくさんの賛同の声が寄せられた。また、牛乳教育授業実践報告の時間や骨の模型・乳牛の原寸大タペストリーなどの貸出教材の活用法の提示時間を追加したことにより、より具体的に指導法の開発へと結びついた。

<第1回～第10回>
セミナー参加者数 1676名
 模擬授業実施教師 55名

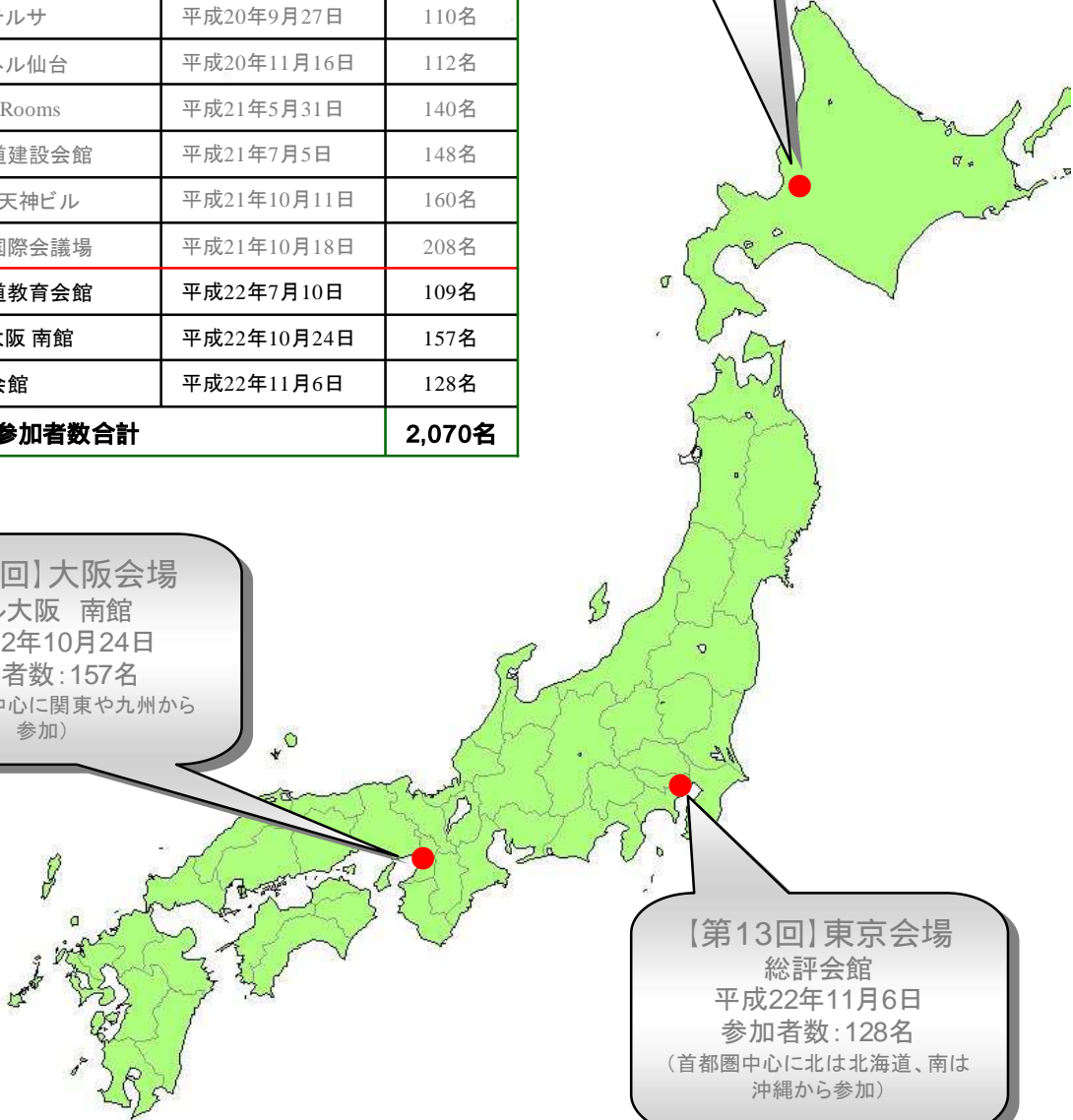
<第11回～第13回>
セミナー参加者数 394名
 模擬授業・実践発表実施教師 24名
 模擬授業実施栄養士 9名

開催回数	開催地	実施日	セミナー参加者数
第1回	【東京会場】: 東京池上会館	平成20年2月9日	231名
第2回	【山口会場】: 海峡メッセ下関	平成20年2月17日	239名
第3回	【大阪会場】: 浪速区民センター	平成20年4月13日	176名
第4回	【札幌会場】: きょうさいサロン札幌	平成20年4月26日	152名
第5回	【静岡会場】: 清水テルサ	平成20年9月27日	110名
第6回	【宮城会場】: ハーネル仙台	平成20年11月16日	112名
第7回	【東京会場】: KFC Rooms	平成21年5月31日	140名
第8回	【札幌会場】: 北海道建設会館	平成21年7月5日	148名
第9回	【福岡会場】: 福岡・天神ビル	平成21年10月11日	160名
第10回	【大阪会場】: 大阪国際会議場	平成21年10月18日	208名
第11回	【札幌会場】: 北海道教育会館	平成22年7月10日	109名
第12回	【大阪会場】: エル大阪 南館	平成22年10月24日	157名
第13回	【東京会場】: 総評会館	平成22年11月6日	128名
セミナー参加者数合計			2,070名

【第11回】札幌会場
 北海道教育会館
 平成22年7月10日
 参加者数: 109名
 (北海道全域から来場、一部栄養教諭を目指す大学生も参加)

【第12回】大阪会場
 エル大阪 南館
 平成22年10月24日
 参加者数: 157名
 (関西地区中心に関東や九州から参加)

【第13回】東京会場
 総評会館
 平成22年11月6日
 参加者数: 128名
 (首都圏中心に北は北海道、南は沖縄から参加)



第11回

札幌会場(平成22年7月10日、土曜日)

- 会場:北海道教育会館 ●時間:10時~11時半 ●参加者数:109名
- 模擬授業講師:6名 ●模擬授業栄養士:3名 ●実践報告:2名
- 特別講演:本田 浩次氏(社団法人日本酪農乳業協会 会長)
- 基調講演:谷 和樹氏(玉川大学教職大学院 准教授)



<タイムスケジュール>

- 10:00~10:15 特別講演
 本田 浩次氏(社団法人日本酪農乳業協会 会長)
- 10:15~10:35 栄養士との牛乳テキストを使った模擬授業
 授業者①低学年 伊倉 尚子氏(小学校教諭)・奥田 真由美氏(栄養士代理)
 ②中学年 南 尚美氏(小学校教諭)・千葉 真理氏(栄養士代理)
 ③高学年 橋爪 里佳氏(小学校教諭)・永井 由美氏(栄養士)
 <谷 和樹氏(玉川大学教職大学院 准教授)による講評>
- 10:35~10:45 実践報告
 ①塩谷 直大氏(小学校教諭)
 ②長田 修一氏(小学校教諭)
- 10:55~11:20 牛乳教育の特別模擬授業
 授業者 ①染谷 幸二氏(中学校教諭)
 ②松崎 力氏(小学校教諭)
 ③伴 一孝氏(小学校教諭)
- 11:20~11:30 基調講演
 谷 和樹氏(玉川大学教職大学院 准教授)

第12回

大阪会場(平成22年10月24日、日曜日)

- 会場:エル大阪 南館(南ホール) ●時間:9時半~11時半 ●参加者数:157名
- 模擬授業講師:6名 ●模擬授業栄養士:3名 ●実践報告:2名
- 特別講演①:高見 裕博氏(社団法人日本酪農乳業協会 理事)
- 特別講演②:田川 恵子氏(社団法人全国学校栄養士協議会 理事)
- 基調講演:谷 和樹氏(玉川大学教職大学院 准教授)



<タイムスケジュール>

- 9:30~9:45 特別講演1
高見 裕博氏(社団法人日本酪農乳業協会 理事)
- 9:45~10:10 栄養士と牛乳テキストを使った模擬授業
授業者 ①低学年 許 鍾萬氏(小学校教諭)・乙野倫子氏(栄養士役小学校教諭)
②中学年 矢口 純子氏(小学校教諭)・伊藤みどり氏(栄養教諭)
③高学年 本吉 伸行氏(小学校教諭)・鎌田 早紀子氏(栄養教諭)
<谷 和樹氏(玉川大学教職大学院 准教授)による講評>
- 10:10~10:20 牛乳教育実践報告
①塩谷 直大氏(小学校教諭)
②溝端 久輝子氏(小学校教諭)
- 10:30~10:45 特別講演2
田川 恵子氏(社団法人全国学校栄養士協議会 理事 栄養教諭)
- 10:45~11:15 牛乳教育の特別模擬授業
授業者 ①小森 栄治氏(元小学校教諭、現理科教育コンサルタント)
②甲本 卓司氏(小学校教諭) ③神谷 祐子氏(小学校教諭)
- 11:15~11:30 基調講演
谷 和樹氏(玉川大学教職大学院 准教授)

第13回

東京会場(平成22年11月6日、土曜日)

- 会場:総評会館 ●時間:10時~12時 ●参加者数:128名
- 模擬授業講師:6名 ●模擬授業栄養士:3名 ●実践報告:2名
- 特別講演①:本田 浩次氏(社団法人日本酪農乳業協会 会長)
- 特別講演②:長島 美保子氏(全国学校栄養士協議会 副会長)
- 基調講演:谷 和樹氏(玉川大学教職大学院 准教授)



<タイムスケジュール>

- 10:00~10:15 特別講演1
 本田 浩次氏(社団法人日本酪農乳業協会 会長)
- 10:15~10:40 栄養士と牛乳テキストを使った模擬授業
 授業者①低学年 山本 東矢氏(小学校教諭)・田中 洋子氏(栄養教諭)
 ②中学年 矢口 純子氏(小学校教諭)・伊藤 みどり氏(栄養教諭)
 ③高学年 本吉 伸行氏(小学校教諭)・鎌田 早紀子氏(栄養教諭)
 <谷 和樹氏(玉川大学教職大学院 准教授)による講評>
- 10:40~10:50 牛乳教育実践報告
 ①竹内 淑香氏(小学校教諭)
 ②島村 雄次郎氏(小学校教諭)
- 11:00~11:15 特別講演2
 長島 美保子氏(社団法人全国学校栄養士協議会 副会長、栄養教諭)
- 11:15~11:45 牛乳教育の特別模擬授業
 授業者 ①川原 雅樹氏(小学校教諭)
 ②井戸 砂織氏(小学校教諭)
 ③伴 一孝氏(小学校教諭)
- 11:45~12:00 基調講演
 谷 和樹氏(玉川大学教職大学院 准教授)

平成19年から指導セミナーを実施していることもあり、参加者の半数が既存参加者だった。セミナーに対する感想が「とても参考になった」「参考になった」との回答のみで、セミナーの内容が意味のあるものになったことが読み取れる。また、再びセミナーへの参加希望100%と、セミナーの実施が有効であることも読み取れる。過去には数例しかなかったT・Tの授業が、昨年度実施のセミナーの影響からか、教諭による実践数が伸びたように思われる。

今年度開催のセミナー参加者の中だけでも、牛乳教育授業の実施率が約4割弱と、牛乳教育が食育手段の一つとして浸透していることが測れる。そして、今後の授業実践希望者数から見ても、今後益々牛乳教育授業が幅広く広がっていくことが予想される。(実施希望者の半数以上はテキストの申し込みをしていた)

< 第11～13回T O S S 食育・牛乳教育セミナーin東京 アンケート総合結果 >

配布:394枚

回収:220枚

有効回答数:214枚

■参加者区分・クラス平均人数

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	特支・ 少人数	中1	中2	中3	高校	栄養職員	該当外	計
区分(人)	19	18	11	18	20	17	12	1	4	1	2	71	20	214
クラス人数平均	29.4	30.7	30.0	24.5	29.6	33.6	7.3	16.0	39.0	31.0	40.0			

■T O S S 食育・牛乳教育指導セミナーへの参加経験

	ある	ない
人数	101	113

■セミナー全体への感想

	とても参考 になった	参考に なった	どちらでも ない	あまり参考に ならなかった	参考に ならなかった
人数	177	37	0	0	0

■T・Tで授業を行ってみたいか

	実施済	やってみたい	やりたくない
人数	28	186	0

■またセミナーに参加してみたいか

	参加したい	参加したくない
人数	214	0

■学校で食育の授業は行っているか

	行っている	行っていない	未記入
人数	159	41	14

■牛乳教育の授業を行ったことはあるか

	ある	ない	未記入
人数	80	124	10

■今後、牛乳教育の授業を実践してみたいと思うか

	そう思う	ややそう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	思わない	未記入
人数	180	21	4	0	0	9

< 第11回T O S S 食育・牛乳教育セミナーin札幌 アンケート結果 >

配布:109枚

回収:65枚

有効回答数:63枚

■参加者区分・クラス平均人数

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	特支・ 少人数	中1	中2	中3	高校	栄養職員	その他	計
区分(人)	7	9	3	5	5	2	9	0	3	1	1	12	6	63
クラス人数平均	30.6	28.8	20.7	24.8	25.2	31.0	1.9		37.0	31.0				

■T O S S 食育・牛乳教育指導セミナーへの参加経験

	ある	ない
人数	43	20

■セミナー全体への感想

	とても参考 になった	参考に なった	どちらでも ない	あまり参考に ならなかった	参考に ならなかった
人数	54	9	0	0	0

参考になった
内容
(重複内容
は省略)

- ・牛乳について教えることにより、色々な繋がりができることが分かった
- ・改めてテキストの活用法について考えさせられた
- ・模擬授業が楽しく、強烈なイメージを持たせてくれた
- ・牛乳についての知識だけでなく、講師の先生方のスピード感を感じることができた
- ・授業の組み立てや栄養士さんとの授業の仕方が良くわかった
- ・牛乳やカルシウムの大切さを知った
- ・牛乳テキストの使い方が参考になった
- ・テキストがあるため、どのように進めていけばわかりやすかった
- ・栄養教諭の方が参加した授業は見たことがなかったので参考になった
- ・食育の授業の作り方のポイント
- ・牛乳一つで様々な知識を得られることが分かった
- ・協会の方の業界関係の話は初めて聞くことばかりでとても参考になった
- ・授業の組み立て方を授業の形で見る事ができた
- ・栄養士とのTTのイメージを深めることができた
- ・TTによる効果を学べた

■T・Tで授業を行ってみたいか

	実施済	やってみたい	やりたくない
人数	4	59	0

実施済み内訳(セミナー参加経験有の教諭:3、栄養職員:0、
経験無の教諭:0、栄養職員:1)

■またセミナーに参加してみたいか

	参加したい	参加したくない
人数	63	0

■学校で食育の授業は行っているか

	行っている	行っていない	未記入
人数	43	18	2

行っていない 主な理由	<ul style="list-style-type: none"> ・時間がない ・特別支援のため ・食育が議題としてあがらない ・中学校はカリキュラムが整っていないため ・教育計画に位置づけられていない(高校) ・年間授業計画に入っていない
行っている 主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食の大切さについて ・栄養のバランスについて ・食事の環境について ・噛むことの大切さについて ・食生活について ・食べ物の働きについて ・給食について ・牛乳について ・ジャンクフードについて ・地産地消について ・虫歯について ・朝食について ・農業体験

■牛乳教育の授業を行ったことはあるか

	ある	ない	未記入
人数	26	36	1

実施済み内訳(セミナー参加経験有の教諭:21、栄養職員:1、
経験無の教諭:2、栄養職員:2)

どのような効果 があったか	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳をあまり飲まない子が牛乳を飲もうと頑張るようになった ・牛乳にたいする思いが変わった ・牛乳がとても体にいいということをデータを通して理解させることができた ・飲み残しが減った ・飲む子が増えた ・牛乳や食について興味を示すようになった ・牧場見学や乳業工場見学の際、知識と体験とが結びついて(体験前に授業実施)
------------------	---

■今後、牛乳教育の授業を実践してみたいと思うか

	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまり そう思わない	思わない
人数	58	3	2	0	0

< 第12回T O S S 食育・牛乳教育セミナーin大阪 アンケート結果 >

配布:157枚

回収:75枚

有効回答数:72枚

■参加者区分・クラス平均人数

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	特支・ 少人数	中1	中2	中3	高校	栄養職員	該当外	計
区分(人)	8	7	4	5	5	7	1	0	1	0	0	26	8	72
クラス人数平均	28.0	31.0	38.8	22.4	30.5	29.2	2.0		41.0					

■T O S S 食育・牛乳教育指導セミナーへの参加経緯

	ある	ない
人数	35	37

■セミナー全体への感想

	とても参考 になった	参考に なった	どちらでも ない	あまり参考に ならなかった	参考に ならなかった
人数	58	14	0	0	0

参考になった
内容
(重複内容
は省略)

- ・テンポがあり、ワフルな授業はとても勉強になり、刺激になった
- ・アレルギーとの関係など大変わかりやすかった
- ・骨が端から成長することや、骨の模型の活用法など新たにいろいろと学ぶことができた
- ・授業を実施する材料をたくさん紹介してもらえた
- ・貸出教材の存在やテキストの申込みができることが分かった。物を用紙して授業ができる環境・体制が整っていることが分かった
- ・ITの授業で“どの部分が担任”、“どの部分が栄養士”が行えばよいかなど授業の組み立て方について学ぶことができた
- ・メタボについてなどの新しいデータを知ることができた
- ・資料の活用について(配るだけではだめ、活用してこそ資料)
- ・実践事例が詳しく伝えられていた
- ・クラスの牛乳を飲まない児童に対し、どう指導したらいいかよい手立てが浮かばなかったが、具体的な提案でとても参考になった
- ・牛乳の良さについていろいろと知ることができた
- ・カルシウムや牛乳の授業を行う予定があるものの、どのように行えばいいか全く分らなかったの
で、とても参考になった
- ・ITで行う授業は子どもの興味関心をぐっと引き寄せることができると知った
- ・考え抜かれた指導を見ることができ、谷先生の講評もあり、さらに勉強になった
- ・実際の授業のイメージができた
- ・教材の活かし方や発問の仕方
- ・模擬授業がとてもわかりやすく、牛乳についての知識がたくさん得られた
- ・新しいHPの紹介、PCを使った展開と発展性
- ・小学生にとって少し難しい乳糖不耐症や骨の再構築、ピークボーマスのグラフなどを、小物を使って
分かり易く授業をされていたところ
- ・谷先生の講演
- ・短い時間の中で飽きることなくたくさんの授業が見れた
- ・今まで知らなかったことや、誤解していた知識があったことがわかった
- ・牛乳教育テキストの活用法
- ・ITの授業を初めてみることもできた。ITでの授業展開の参考になった
- ・多くの資料や教材がクラスでもすぐに使用が可能であること
- ・勉強になるだけでなく、楽しい授業がいっぱいだった
- ・模擬授業や実践報告を見て、授業力をつけることの大切さ、授業展開の検討などを学べた
- ・模擬授業を見て、給食の短い時間でもできるようなことを考える時の参考になった

■T・Tで授業を行ってみたいか

	実施済	やってみたい	やりたくない
人数	14	58	0

実施済み内訳(セミナー参加経験有の教諭:8、栄養職員:2、
経験無の教諭:1、栄養職員:3)

■またセミナーに参加してみたいか

	参加したい	参加したくない
人数	72	0

■学校で食育の授業は行っているか

	行っている	行っていない	未記入
人数	61	6	5

行っていない 主な理由	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時間がもらえない。(給食の時間には一緒に食べながら食指導は行っている) ・教育計画に入っていない ・カリキュラムに入っているが、様々な行事の影響でほとんど行われていない ・家庭科の中で少し触れるくらいで、あまり食についての知識がなく少し抵抗があるため
行っている 主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜の効能について ・牛乳教育 ・乳搾り体験 ・給食ができるまで ・砂糖の害について ・栄養士、栄養教諭による出前授業や給食メニューをもとに栄養について考える授業 ・栄養のバランスについて ・食の安全について(トレーサビリティ) ・うま味について ・食と環境 ・朝食の大切さや働きについて ・低中学年:食べ物の働き、噛むことの大切さ、牛乳の働き ・高学年:家政の授業 ・食べ物の名前について ・三色栄養やカルシウムについて ・そら豆の皮むき体験 ・丈夫な体は、丈夫な骨からやピークボーンマスについて ・お弁当について ・そばの種まき、収穫、そば作り体験 ・学校農園で栽培したかぼちゃや米を使っての実習、授業 ・おやつの手拭かた ・箸の持ち方 ・食に関するゴミの話 ・味噌の栄養について ・地産地消

■牛乳教育の授業を行ったことはあるか

	ある	ない	未記入
人数	28	40	4

実施済み内訳(セミナー参加経験有の教諭:13、栄養職員:5、
経験無の教諭:3、栄養職員:7)

どのような効果 があったか	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳の残量が一時的に減った ・退屈しがちな食育授業だが、子どもたちが楽しんで取り組むことができた ・全員が毎日残さずに飲んでいる ・牛乳が苦手な子も飲もうとするようになった ・牛乳嫌いの子が飲めるようになった ・その日の給食に出てきた牛乳に書いてあることに興味を持ち、意識して見るようになった ・栄養のバランスや食の安全に気を配るようになった ・牛乳とカルシウムや骨の大切さに繋がっていることを理解した
------------------	---

■今後、牛乳教育の授業を實踐してみたいと思うか

	そう思う	ややそう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	思わない	未記入
人数	55	10	2	0	0	5

< 第13回T O S S 食育・牛乳教育セミナーin東京 アンケート結果 >

配布:128枚

回収:80枚

有効回答数:79枚

■参加者区分・クラス平均人数

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	特支・ 少人数	中1	中2	中3	高校	栄養職員	該当外	計
区分(人)	4	2	4	8	10	8	2	1	0	0	1	33	6	79
クラス人数平均	30.0	37.5	32.3	31.3	33.2	40.6	18.0	16.0			40.0			

■T O S S 食育・牛乳教育指導セミナーへの参加経験

	ある	ない
人数	23	56

■セミナー全体への感想

	とても参考 になった	参考に なった	どちらでも ない	あまり参考に ならなかった	参考に ならなかった
人数	65	14	0	0	0

参考になった
内容
(重複内容
は省略)

- ・授業で大切な観点をどのように入れたらよいか勉強になった
- ・子どもにどのように伝えたらよいか様々な方法があった
- ・資料等に科学的根拠があった
- ・実践授業、指導案もあり分かりやすく取り入れやすい
- ・授業の流れ(テンポ)の良さにビックリした
- ・色々な資料とその使い方
- ・自分とは違う視点で牛乳教育指導を見ることができた
- ・子どもを引き付ける授業
- ・カルシウムの授業など、実際に見ることが出来た点
- ・授業がとても楽しいので受けていて面白い、そして勉強になる
- ・乳牛タペストリーや骨の模型セットの貸出について知ることができた
- ・授業で活用できる資料のあるHPを知ることができた
- ・栄養教諭の先生とTTで授業をやりたいと思った
- ・もらった資料が充実していて、栄養教諭との掛け合いの仕方がわかった
- ・牛乳の良さについて栄養面から理解できた
- ・模擬授業の形式のおかげで栄養士とどのようにして授業を進めていくのかイメージが湧いた
- ・牛乳の必要性を感じることができた
- ・テキストをもらったので、実践にうつしやすい
- ・牛乳にまつわる知識と共に、授業技術についても学ぶことができた
- ・教室で実践してみたいと思う授業や話がたくさんあった
- ・牛乳に関する基礎知識のなさを実感した(気付けた)

■T・Tで授業を行ってみたいか

	実施済	やってみたい	やりたくない
人数	10	69	0

実施済み内訳(セミナー参加経験有の教諭:3、栄養職員:1、
経験無の教諭:2、栄養職員:4)

■またセミナーに参加してみたいか

	参加したい	参加したくない
人数	79	0

■学校で食育の授業は行っているか

	行っている	行っていない	未記入
人数	55	17	7

行っていない 主な理由	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程にない(カリキュラムにない) ・テキストがなかったから ・時間がない ・このような実践を知らず、どう授業をしてよいかわからなかった ・「行え」とも言われておらず、「行おう」という教員もいない ・ノウハウがなく、メドがない ・授業でまなく給食指導のみのため ・給食時間では食育が行い易いが、授業(教科等)では難しそうに感じる ・栄養士からだだと担任の先生にも負担がかかるので声をかけにくい
行っている 主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・噛む、租借 ・和食について ・米作り体験 ・骨について(カルシウム) ・食物繊維について ・栄養のバランスについて ・砂糖について ・ファーストフードについて ・箸の使い方 ・行事食について ・うま味について ・給食のマナー(好き嫌いなく食べるなど) ・牛乳の授業 ・朝食について ・お弁当について ・骨密度の検査の後、成長期の栄養について ・食生活と健康 ・給食目標や献立について ・生活習慣病と食について ・食糧生産について

■牛乳教育の授業を行ったことはあるか

	ある	ない	未記入
人数	26	48	5

実施済み内訳(セミナー参加経験有の教諭:13、栄養職員:0、
経験無の教諭:3、栄養職員:10)

どのような効果 があったか	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳への認識が高まり、残量が減った ・飲み残しがゼロになった ・苦手だったのに飲もうと努力する子が増えた ・牛乳の効用などを理解した ・子どもたちがカルシウムを摂ることの大切さを感じることができた ・なぜ給食に牛乳が毎日出るのがよく分かったようだった ・牛乳や乳製品を摂る意欲が高まった ・牛乳が乳製品に使われていることを初めて知った子もいたが理解した
------------------	--

■今後、牛乳教育の授業を実践してみたいと思うか

	そう思う	ややそう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	思わない	未記入
人数	67	8	0	0	0	4

申し込みのあった全国150のTOSSサークルに地域勉強会用教材セットを配布。

セミナーの開催地である北海道、大阪、東京からの申し込みが多数あった。

教材セットに同梱したアンケートは150サークル中106サークルから返信があった。残り44サークルは東京セミナー後の申し込みもあり未実施。アンケートの回答からは栄養士や栄養教諭との連携に対し、意欲的な教師が非常に多いが、時間の都合などから難しいという声も多く聞かれた。

教材申込みサークル一覧は別紙参照

< 地域勉強会までの流れ >

①TOSSのセミナー会場やTOSS ML(メーリングリスト)にて教材セットの申込チラシを配布。サークル単位で申込を募る。

②TOSS牛乳教育 地域セミナー開催

授業用テキスト・教師用指導書を使って、各地域で牛乳教育の教え方を実践して、お互いに学びあう。

③勉強会実施後、サークル代表者がアンケートを事務局に提出

④サークル会員が各自で教材を申込み、実際に授業を実施



150キット作成

■TOSS牛乳教育 勉強会用教材セット内容

- ①授業用テキスト 低/中/高学年用…各20部
- ②教師用指導書 低/中/高学年用…各5部
- ③模擬授業DVD 5枚
- ④授業素材CD-ROM 5枚
- ⑤地域勉強会実施後アンケート 1枚

< 勉強会実施後アンケート結果 >

配布: 150枚(サークル代表者が回答)

回収: 106枚(11/28時点)

有効回答数: 103枚

■実際に授業で『牛乳教育』を実施してみたいと思うか

思う	どちらともいえない	思わない	すでに実施した
92	0	0	11

■テキストの内容について

分かりやすく教えやすい	普通	内容が難しく教えにくい
87	16	0



■栄養士・栄養教諭との連携について

ぜひ実施したい	実施したいが難しい	すでに実施した
60	35	8

■指導にあたって補助教材を希望するか

希望する	どちらでもよい	希望しない
76	16	11



< 勉強会実施後アンケート その他の意見や感想 >

- ・テキストや指導書を始め、模擬授業DVDや授業素材CD-ROMがついているので、授業のイメージがしやすく、すぐに授業で使えてありがたい。
- ・補助教材についての詳細な案内が欲しい。
- ・有効な資料がある場所や、どこに連絡をしたらよいか教えてもらえると嬉しい。
- ・栄養教諭にT・Tのアプローチをすぐにしようと思う。
- ・T・Tの授業を実践してみたいが、学校の栄養士はいくつも学校を掛け持ちしているので時間が作れない。
- ・貴重な教材を無料で提供してもらえて助かる。
- ・学校の他の教師にも広めていこうと思う。
- ・勉強会をしながら、自分がいかに牛乳に対して知識がないかを実感した。正しい情報をもとに子どもたちにきちんと教えていくべきだと思った。
- ・自分のクラスでは飲み残しが多く、その対策をどのように行えばよいか分からなかったが、テキストを使って牛乳の良さを伝えることで改善していきたい。
- ・テキストがカラーでとてもきれいなので、子どもたちもこれならきっと熱中すると思う。
- ・保護者の中に牛乳の飲用に否定的な人たちがおり、その影響を受けて牛乳を飲まない子が多数いる。牛乳の正しい知識を知ること、自分で判断ができるようにしてあげたい。
- ・私のサークルでは人数が多いため、模擬授業DVDや授業素材CD-ROMの数が足りなかった。人数の多いサークルには数を多目にもらえると嬉しい。
- ・小学生向けのテキストだが、中学生にもこのテキストを使って是非授業を実施してみたいと思う。
- ・骨の模型や牛のタペストリーは、子どもが手にしたらきっと大喜びだと思う。すぐに申込みをしようと思う。

牛乳教育教材申込数(実施数対象児童数)

	2008年テキスト			2008年テキスト(改訂分)			2009年新テキスト		
	低	中	高	低	中	高	低	中	高
制作数	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	60,000	60,000	60,000
キット同梱分 (授業研究使用)	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	6,000	6,000	6,000
授業用分発送分	34,996	34,990	34,991	34,158	34,164	34,217	37,708	37,279	38,061
在庫	4	10	9	842	836	783	16,292	16,721	15,939

	2010年新テキスト (2009年度版テキストを使用)		
	低	中	高
制作数	20,000	20,000	20,000
昨年度在庫数	15,632	16,061	15,279
キット同梱分 (授業研究使用)	3,000	3,000	3,000
セミナー使用分	400	400	400
授業用分発送分	25,114	24,502	25,413
在庫	7,118	8,159	6,466

総数

395,593人に牛乳教育授業を実施(見込み)

2010年:75,029人に牛乳教育授業を実施(見込み)

3. 食育・牛乳教育の授業実践報告

昨年までは単純にテキストやCD-ROMに入っている素材を使用しての授業報告しかなかったが、今年度は補助教材の活用、そして栄養教諭からの実践報告が届くように変化した。特に、セミナーで模擬授業を行った教師や栄養教諭らが率先して授業の様子をTOSSのML(メーリングリスト)に報告するなどし、オピニオンリーダーとなっている。しかしながら、時間の都合やカリキュラムなどの影響もあり、まだまだ教諭と栄養教諭との連携実績数は少なく、継続した働きかけが必要である。(授業を今後予定している学校も多数ある為、現時点での考察である)
実施後のアンケートは任意であるため、回収数は少ないが、全体的な実施状況は回答から推察できる。

< 教諭による実践 > 任意アンケート 配布:736枚 回収:116枚 有効回答数:102枚

■平成22年度に開催したTOSS食育・牛乳教育指導セミナーへの参加有無

	有	無
人数	92	10

■授業実施区分/対象人数 ※内数校は一人の教諭が学年全体で実施

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	特支・ 少人数	中1	中2	中3	高校
区分(人)	12	18	17	15	18	20	0	0	1	1	0
対象人数(生徒数)	347	621	522	448	694	647	0	0	28	30	0

■授業をどのように行ったか

	1人	栄養教諭 (栄養士)と	養護教諭と
人数	61	41	

■授業実施後の給食牛乳の飲み残し量の変化

	かなり減った	少し減った	変わらない	増えた	もともと飲み 残しはない
人数	72	27	0	0	3

■補助教材の使用

	骨の模型	原寸大 タペストリー	その他
人数	46	44	12

その他 補助教材 内容

- ・TOSS食育・牛乳教育模擬授業DVD
- ・TOSS食育・牛乳教育授業素材CD-ROM
- ・学乳スクエアの動画資料(JミルクHP資料)
- ・ミルミル分かる、ミルクの話。パンフレット(Jミルクパンフレット)
- ・病気になるない生き方(新谷弘美著)
- ・牛乳ってスゴイ!(Jミルクパンフレット)

■意見や感想

- ・最新の牛乳情報を知りたい。
- ・授業DVDとコンテンツCD-ROMがとても役に立っています。ありがとうございます。
- ・次回セミナーがある際は、勤務校の栄養教諭も誘って参加したい。
- ・原寸大タペストリーは児童が大変興味を持っていた教材だった。実際の授業でも大活躍だった。
- ・学活で40分ほどやりました。中学生だったが、生徒は真剣に話を聞いていた。最初の腕回り10センチの話にとても驚いていた。牛乳やカルシウムのことを知識として正しく教えることができて良かった。
- ・テキストの作りが子どもたちにとっても分かり易く、楽しく且つ知的に授業をすることができた。
- ・低学年用テキストを使って4年生に授業したが、「へー」「そうか!」など、子どもたちがノリノリだった。
- ・いただいた資料を活用することで、子どもたちも興味とところまで牛乳について教えることができた。
- ・「牛乳を飲みなさい!」という指導ではなく、牛乳のいいところを科学的に説明すること、悪いという噂は根拠のないものだということの事実を子どもに伝えた上で、子どもにどの情報を選択するかは任せたい。結果、飲まなかった子のうち一人が、自分から牛乳を飲むようになった。こうした事実をさらに積み上げていきたい。
- ・すてきなテキストや資料をありがとうございました。今後ともぜひ、子どもたちに広めていきたいです。
- ・子どもたちは、たいへん意欲的に取り組み、新しく知ることたくさんあり、楽しんで授業ができたようだった。授業後の感想でも、健康面、栄養面、環境面など、様々な観点の文章が見られ、牛乳を通して子どもたちが多くの知識を得られたことが良く分かった。給食の牛乳に対する見方も変化があった。
- ・身近な牛乳について新たに知ることが多く、子どもたちはそのために「牛乳ってすごい!」と言っていた。テキストを使って授業を行ったことで、子どもたちは、牛乳を見直したようだった。

3. 食育・牛乳教育の授業実践報告

< 栄養教諭(栄養士)による実践 > 任意アンケート 配布:221枚 回収:64枚 有効回答数:52枚

■平成22年度に開催したTOSS食育・牛乳教育指導セミナーへの参加有無

	有	無
人数	39	13

■授業実施区分/対象人数 ※内数校は一人の栄養教諭(栄養士)が学年全体、学校全体で実施

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	特支・ 少人数	中1	中2	中3	高校
区分(人)	6	7	6	10	12	11	0	0	0	0	0
対象人数(生徒数)	40	79	40	40	87	40	0	0	0	0	0

■授業をどのように行ったか

	1人	栄養教諭 (栄養士)と	養護教諭と	担当教諭と
人数	18	14	5	15

■授業実施後の給食牛乳の飲み残し量の変化

	かなり減った	少し減った	変わらない	増えた	もともと飲み 残しはない
人数	24	28	0	0	0

■補助教材の使用

	骨の模型	原寸大 タペストリー	その他
人数	18	19	15

その他 補助教材 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・過去に食指導用に作ったパネル ・パワーポイント資料 ・TOSS食育・牛乳教育特別版模擬授業DVD ・学乳スクエアの動画資料(JミルクHP資料) ・ミルク分かる、ミルクの話。パンフレット(Jミルクパンフレット)
-------------------	---

■意見や感想

- ・6年生では教諭からお借りした、コンテンツCD-ROMのパワーポイントを使用。効果的でよい教材だった。
- ・給食週間の取り組みとして実施した。子どもたちの牛乳の見方が変わった。
- ・派遣先では1クラスずつ指導をしているが、どのクラスでも「おお～」と歓声があがるくらい熱中していた。
- ・セミナーに参加し、実践例を見て、ぜひ自分でも実施してみたいと思い取り組んだ。
- ・Jミルクのホームページは、すぐに授業に使える教材が沢山あり、プリントアウトしたり、動画を取り入れたりして使用した。子どもたちにもとても好評だった。
- ・無料の貸出教材を使用して授業に使った。牛乳の良さを子どもたちが再認識できたようだった。
- ・給食週間にタペストリーを教室の入り口に貼って利用した。鳴き声が聞けたり、毛を触れたり、大きさもとても多きので大好評だった。
- ・今まではまだ説明を行うだけの授業しか行えなかったが、テキストがあることや、教諭の方から声をかけていただいたりしたこともあり、今までこない効果的な授業を行うことができた。もっと自分の授業力をあげて、今後も実践していきたい。